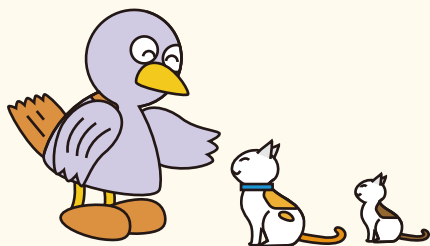




猫の 室内飼いの ススメ



埼玉県のマスコット
コバトン



気付かないうちに
ご近所に迷惑を
かけているかも……

飼い主さんの気付かないところで
ご近所に迷惑をかけてしまっている
かもしれません。

ご近所の方も迷惑に思っている
ものかもしれません。

あなたの猫がご近所に迷惑を
かけている可能性は0%？

それとも……？

猫にとって 「家の外は危険がいっぱい」です！

猫は“なわばり”を作り、その範囲の中で生活します。

家の中が猫にとって安心・満足できる環境であれば、猫は室内を“なわばり”と認識して生活します。

室内を猫が安心・満足できる環境にすることや、飼い主が適切なコミュニケーションを保つように配慮することなどによって、猫のストレスを軽減することは可能ですし、外界のさまざまな危険から猫を守ることができて、トラブルが起きる可能性もないなど、室内飼いにはさまざまな利点があります。

子猫の時期であれば室内飼いに慣れさせるのは比較的容易です。また、外飼いや家の内外を自由に行き来できる飼い方をしている成猫の場合、屋外まで“なわばり”が広がっているため、室内飼いに慣れさせることは大きな努力が必要になりますが、家の中を外界よりも充実した環境にするなどの配慮と努力があれば、室内飼いに慣れさせることは決して不可能ではありません。

猫が安心して幸せに暮らすことのできる“室内飼い”を考えてみませんか？

猫にとって快適な室内 = “最高に贅沢で幸せな場所”

埼玉県動物指導センター

熊谷市板井123

TEL 048-536-2465

埼玉県動物指導センター 南支所

さいたま市桜区在家473

TEL 048-855-0484

猫を室内で飼う場合のポイント

猫の行動範囲はもともと広くはありません。室内に“なわばり”の条件（十分な食料・安全で快適な寝場所・清潔なトイレなど）がなんでも揃っていれば、猫が満足できる最高の場所になります。

① 居心地の良い環境

新鮮な水・食事・清潔な猫トイレ・寝場所を用意してください。

- ※ 新鮮な水を与えるには「給水器」を使うと便利です。
- ※ 猫を2匹以上飼う場合は「猫の数+1個」のトイレを用意してください。

② ストレスを発散できるようにする

高低差を利用して、猫が自由に遊べるようにします。

- ※ 高低差をつけて猫が移動できるようにすると、必要な運動量を満たしてストレスも発散できます。また「爪とぎ」や「おもちゃ」なども十分に用意してください。

③ 猫と遊ぶ機会を大切にする

飼い主が猫と一緒に遊ぶことは、猫だけで過ごす場合よりも、より大きく質の高い良い刺激になります。ぜひ、猫と積極的に遊んであげてください。



猫室の例



3段ケージの例

< 猫の「室内飼育用ケージ」をご存知ですか？ >

「給水器」でいつでも新鮮な水が飲めるようになっています。⇒

常に猫を入れっぱなしという訳にはいきませんが「夜間や飼い主が外出する時などに、飼育用ケージの中で過ごさせる」などの使い方をすると役立ちます。

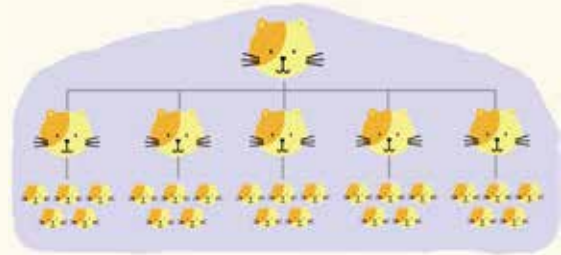
餌を与えるときに、毎回、飼育用ケージの中で食べさせるようにすると「ご飯はこの場所！」と猫がおぼえて、ケージの中にスムーズに入るようになります。

交通事故・迷子・病気などの危険から「猫を守ってあげる」ために「完全室内飼い」を強くお奨めします。

猫の「不妊手術」のススメ

どうしよう?? こんなに増えたら!

- ① 猫は「生後6か月～9か月で妊娠」できます。
- ② 猫は「出産後約2か月で再び妊娠」できます。
- ③ 猫は「年3回以上の出産」ができます。
- ④ 猫の「妊娠期間は約2か月」です。
- ⑤ 猫は「1回の出産で平均5匹の子」を産みます。



$$\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5} =$$

不妊手術をすると

※ 授乳中の子猫（生後3か月未満）を母猫から離すと、母猫はすぐにまた、妊娠可能になります。

- メス
- ① 望まない妊娠を防げる（不幸な猫を減らせる）
 - ② 穏和な性格が保たれる
 - ③ 発情期の異常な鳴き声などがなくなる
 - ④ 子宮蓄膿症や卵巣のう腫などの病気を予防できる

- オス
- ① メスを妊娠させない（不幸な猫を減らせる）
 - ② 性格が穏やかになる（ケンカも減らせる）
 - ③ 前立腺の病気や肛門周辺の腫瘍などを予防できる
 - ④ 発情しているメスがいても外に出たがらない

不幸な命を作り出さない・増やさないためには「不妊手術」が必要です。

※ 不妊手術の時期は、生後半年後以降、早めの時期をお奨めします。

参考情報

- ☆ **猫の「小屋飼い」** ※ 猫を小屋で飼うことも選択肢の一つですが、その参考例が載っています。
参考サイト：完全敷地内飼いのすすめ (<http://www.nekobaka.com/~ne-help/kanzensikitinaigai.html>)
- ☆ **野生猫も家猫にできる** ※ 野生猫を人に慣れさせた実例です。このほか「小笠原 猫 マイケル」で Web 検索をしてみてください。
参考サイト：野生化した凶暴ネコも“小笠原流”で可愛く大変身! (<http://dot.asahi.com/dot/2015061700085.html>)
- ☆ **不妊・去勢手術** ※ 外猫に手術を受けさせようとする場合に、有効なアドバイスが載っています。
参考サイト：猫も家族計画 (<http://nekomokazokukeikaku.jimdo.com/>)
- ☆ **猫の糞尿の匂いを軽減する方法** ※ 生ゴミ分解促進剤を使って、猫トイレの匂いを軽減させるアイデアです。
参考サイト：匂わない外猫トイレ (<https://nekomokazokukeikaku.jimdo.com/匂わない外猫トイレ/>)
- ☆ **猫の忌避方法** ※ 猫に危害を与えずに忌避する方法を紹介しています。(埼玉県動物指導センターのサイト)
参考サイト：猫が庭などに入らない方法
(<http://www.pref.saitama.lg.jp/b0716/doubutu-shitumonon-nekoganiwanihairanaihouhou-1.html>)

ミニコラム

「家の外にいる猫に餌を与えること」は、「かわいそう」という思いだけではすみません。

「餌を置きっぱなしにしない」「猫トイレの設置や周辺の清掃」などのさまざまな配慮、繁殖抑制（不妊手術）の実施、周囲の理解を得るような努力などを伴わなければ、周囲には「迷惑行為」としか映りませんし、最悪、猫が悪者扱いされてしまう可能性もあります。

「猫が大好き」と「猫が大嫌い」の人の割合は20%ずつで、60%の人が「どちらでもない」そうです。実際、「猫の糞や尿で困っている」と相談される人の多くが「猫が嫌いではないけれど、迷惑をかけられることが困る」と言います。

猫を優しく見守ってくれる人を増やし、人と猫が共に幸せに暮らすことのできる方法を考えてみませんか？